

附中だより



令和3年11月22日
文責 附属中学校 保坂 伸

学園祭文化部門開催

～桐龍祭テーマ「熱結(ねっけつ)」～



最優秀作品3-2 大久保茉莉さん

本校の学園祭「桐龍祭」は、新型コロナウイルス感染症流行による臨時休業等の影響で体育部門のみ9/20(月)に開催し文化部門は11/8(月)に延期し実施しました。今年の学園祭テーマ「熱結(ねっけつ)」の下、生徒会本部が中心となり内容を練り上げ準備を進めてきました。

開催延期に加え、活動にも多くの制限がかかっている状況下でしたが、各部門や文化部の発表、学年発表等、工夫された内容でした。中でも

3年生の学年発表「青鬼」での演技力、演出が素晴らしく会場の参観者を魅了しました。



3年演劇「青鬼」



2年演劇
「THE BIG QUESTION」



1年演劇
「齒車」

[制作部門]
(全校制作)



(アーチ原画)



これら以外にも、学級旗や文化部の発表などがありました。保護者には、オンライン上で見ていただくようにしました。

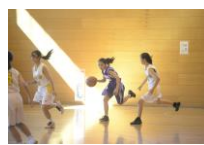
一からやり直しとなった新たな計画を見事に実行した生徒会本部、それを支えた生徒のみなさんの努力を称えたいと思います。

第58回甲府市新人体育大会が開幕

10/8、9に甲府市新人体育大会が感染症対策を取りながら、実施されました。9月末までの活動制限があったため、十分な練習は難しかったです



が、卓球男女アベック優勝など、与えられた条件の中で多くの種目で活躍し成果をあげることができました。また、これまで同様、各会場での感染防止策は徹底しており、感染発生で大会自体が滞ることはありませんでした。1、2年生の選手たちは澁刺としたプレー、爽やかな態度で参加し、培った技術やチームワークを発揮して頑張っていました。惜しくも敗退



したチームもありましたが結果だけでなく取



組の内容も含め今後の生活に生かしてほしいと願っています。

[試合結果]*主な結果のみ紹介

- ◆第58回甲府市中学校新人体育大会
- 卓球の部 男子団体1位・女子団体1位
- 野球の部 Aパート準優勝(県大会出場ならず)
- ソフトテニスの部
 - 男子団体3位・個人3位倉澤・小林組
 - 女子個人1位田原・田辺組
- サッカーの部 予選リーグ1分1敗 予選惜敗
- バスケットボールの部
 - 男子1回戦快勝、2回戦惜敗6位
 - 女子1回戦惜敗
- バレーボールの部 1回戦惜敗
- 水泳の部 女子団体1位、女子4×50mR1位、女子4×50MR1位(鈴木、鈴木、平嶋、増田)
- 柔道の部 女子団体2位・個人2位中田心子
- 男子個人3位豊島信希
- 体操の部 女子個人総合1位戸島彩香
- 新体操の部 女子個人総合2位狩野明日香
- 空手の部 男子個人1位遠藤勇真
- 硬式テニスの部 女子シングルス2位長田綾美

*剣道の部は、交流試合のため順位なし
*県大会の結果は全体が終わり次第紹介します。

(裏面に続く)

(表面からの続き)

文化面でも活躍～科学部がロボコンで県優勝、税の作文コンクール、科学の甲子園

園、日本学生科学賞等でも表彰

○ロボコンやまなし 2021

※努力賞「チームゆうとうせい」以外は全て2年生優勝 チーム「ブラックホール」

杉田大智、水口道翔

※関東大会への出場が決まりました!

3位 チーム「楓花」大隈茉莉、平井陽登、村田梨里花

3位 チーム「ff」 熱海悠惺、平出惺
青工学生会賞

チーム「有河」 齊藤大河、松本有真

チーム「i」 池崎朝飛、松永輔

努力賞

チーム「附属品」 兼田茉莉花、猩々慈救
古屋一成

チーム「団子」 鶴田颯、望月大誠

チーム「ゆうとうせい」 林透生、松土侑矢
(1年生ペア)

○税の作文コンクール

東京国税局長賞 3年 田辺麗

*11/10にFM甲府で朗読、一日税務署長にも任命

○科学の甲子園ジュニア山梨県大会A部門

山梨科学アカデミー賞

チーム「梨大附属関数 $y=ax^2$ 」

2年 大隅茉莉、岡田俊太郎、小林信太郎

○第65回日本学生科学賞 知事賞

山梨大学教育学部附属中学校チーム「黒龍」
3年 滝本妃、山本悠人

若桐講座に多数の参加者～医学・工学・教育学の専門家から貴重な講義を受ける

去る10/16、本校PTAと学校の共同開催として、山梨大学が地域貢献のために推進する講座を開催しました。今年度は、コロナ禍でもあり、1講座(教育学部藤原教授～音楽)を除きオンラインでの実施となりましたが、5講座に160名の方が参加されました。



講師は脳科学・医学、救急医学、工学(仮想空間・AI)、音楽の専門家の教授陣でした。受講後のアンケートでは、講義内容への賛辞が寄せられ1時間の講義時間が「短かった」とのお答えが3割弱いらっしゃった程でした。ほぼ100%の方が「受講したことで興味が高まった」9割の方が「将来の生き方、進路を考えるのに役立った」とお答えになっていました。今回は、山梨大学の全教授陣を対象



に受講希望を調査し、講座を開設しました。こうした機会をもっと設けてほしいという有り難いお声もたくさんいただきましたので今後の企画に生かして参りたいと思います。

歌人三枝昂之先生来校

～山梨県立文学館長～

2年国語特別授業「短歌の鑑賞と創作」

10/21(木)11/11(木)の両日、本校2学年国語科で学んでいる短歌の学習に関わって、山梨県立文学館長で歌人の三枝昂之先生をお招きし、体育館で2学年全員が授業を受けました。三枝先生は本校のご出身で1961年(昭和36)の卒業生です。年頭に天皇皇后両陛下の御前で催される宮中歌会始の選者を務められています。今回は偉大な先輩からご指導をいただく貴重な機会となりました。



1回目では、短歌との出会いや鑑賞、創作の方法等について、2回目では実際に生徒が創作した短歌について、添削指導をして

くださいました。ご指導のポイントとして、1回目には、①描いた場面が読み手に届くようにつくる、②うれしい、悲しい等の感情表現をそのままでなく、違う表現で表わせるよう、言い換える工夫をするとよい、という2点について実際の作品をとおして解説していただきました。

2回目の訪問では、生徒作品の代表41首について、一首ずつ取り上げてくださり、すべてを添削指導してくださいました。生徒作品では、描かれている場面がやや分かりにくいという特徴があったことを踏まえ、



「言い換えも大切だが、まずは場面が読み手に届くようにしましょう」「その瞬間を表現しよう」「例えばこの作品では…」など非常に分かりやすくご指導いただきました。

三枝先生は、この期間中の11/3(水)文化の日に天皇陛下から旭日小綬賞を授与されましたので、今回のご来校への御礼と叙勲のお祝いもかねて花束を贈呈しました。先生からは「君たちから頂いた花束が一番うれしい」とおっしゃっていただきました。

また、先生は訪問のことを山梨日日新聞(11/10)にご寄稿され、こちら大きな反響をいただきました。今回は2年生だけでしたが、今後さらに広げていくことを検討したいと思います。